

近代東京と「スポーツの都」

■日時：2019年8月2日（金）15時00分～17時00分
■会場：法政大学市ヶ谷キャンパス 大内山校舎4階Y402教室

67mm



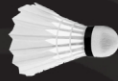
一寸九分七厘

72mm



二寸一分八厘

95mm



二寸八分五厘

215mm



六寸四分五厘

246mm



七寸三分八厘

285mm



八寸五分五厘

1100mm



三尺三寸

■主催

法政大学 江戸東京研究センター 第2研究プロジェクト「江戸東京の「ユニークさ」」

■報告者

鈴木裕輔（名城大学准教授／江戸東京研究センター客員研究員）

■司会

横山泰子（法政大学教授／江戸東京研究センター長）

■入場無料

江戸時代から断続的に続いた西洋からの文物の導入は、明治時代になると政治、経済、社会など様々な面に拡大しました。その中には、それまで日本では行われていなかったベースボール、サッカー、テニス、フェンシング、ラグビーなどの種目が紹介されました。これらの多くは、日本にもたらされた際には、「余暇」や「娯楽」というスポーツの本来の側面よりも、受け入れの窓口となった大学や専門学校などの学生のたしなみや「国民体育の向上」という政治的な色合いを帯びがちでした。

その一方で、明治時代を通して、当初は「遊戯」などとも称されていたスポーツが、主として「競技」、「余暇・娯楽」、「体育」という3つの分野で国民各層に普及します。今回の報告では欧米からもたらされた**各種の競技の受容と普及の過程**において近代の東京が果たした役割を検討することで、「江戸東京のユニークさ」と「スポーツの都」としての東京の誕生の様子を探ります。

■お問合せ先

法政大学江戸東京研究センター
〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
E-mail: edotokyo-jimu@ml.hosei.ac.jp
TEL: 03-3264-9682

■事前申込

PC/スマホ用アドレス
<https://www.event-u.jp/fm/10938>

携帯(ガラケー)用アドレス

<https://www.event-u.jp/fm/m10938>

EToS

江戸東京研究センター
Hosei University Research Center for
Edo-Tokyo Studies

